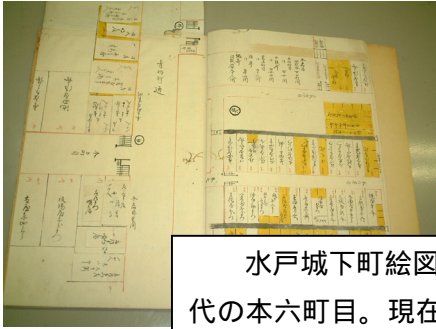


元禄国絵図常陸国：

地図マット(縮尺 60%,およそ 3.3m  
× 2.4m)が玄関でお迎えます。

2007 茨城大学オープンキャンパス企画

図書館 ミニ展示：水戸の歴史探訪<ミニ解説>



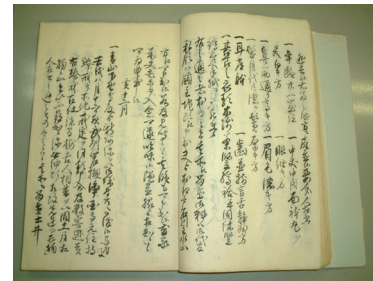
期間：平成19年7月28日(土)

9:30~17:30

場所：茨城大学図書館水戸キャンパス

水戸城下町絵図(下町)：このページは江戸時代の本六町目。現在の水戸市本町三丁目の一部。にぎやかな町の様子を感じることができます。

水戸御用留(ごようどめ)：御用留は、幕府や藩からの命令や通達などを町の役人がその都度、帳面に書き写して保存したもの。江戸時代の水戸の人々の暮らしを垣間見ることができます。このページは、犯人の手配書です。「色白、目が細く、鼻筋が通っている」と書かれています。

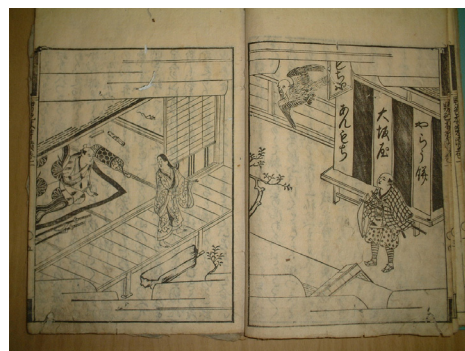


伊勢物語：宝暦6年(1756)、「昔男ありける」で始まる平安時代の歌物語。歌人在原業平の和歌などがいっぱい。このページは、「から衣きつつなれにしつましあればはるばるきぬる旅をしぞ思ふ」の一首。HPで「嵯峨本伊勢物語」慶長13年(1608)の全文を公開中。

菅文庫(水戸藩の歴史学者、菅政友の収集した蔵書コレクション)の一部

男色木芽漬(なんしょくきのめづけ)：元禄16年(1731)江戸時代の男同士の三角関係の物語である。このページのきれいな振袖を着ているのは男性である。

HPで全文を公開中。



茨城大学図書館 <http://www.lib.ibaraki.ac.jp/>